Japanese Society of Hospice and Home-care

第 28 回 日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in 熊本(ハイブリッド) 2021 年 10 月 16 日(土)~17 日(日) 10 月 15 日(金)教育講演

大会直前のおさそい

日本ホスピス・在宅ケア研究会 熊本大会長 高橋 恵子 阿蘇では、秋野の野草が咲き始めました。山間部では涼やかな風が吹いています。 うらはらに、現場と大会準備とバタバタしながら、先日、何度か目の合同の下見を行いました。みなさん、直前になり必死に会場の担当者に質問されていました。この日は、台風一過の直後で無事にできてほっとしました。

写真は、大会までの繰り返しの下見の様子と阿蘇のオミナエシ(秋の七草)



熊本県もご存知の通り蔓延防止措置の最中でした。現状のことを考えると、中止や延期も考えないわけではありませんが、ここまで来たら、ハイブリッド(現地+WEB)なので、どうにかやり遂げたいという気持ちだけになっています。昨年の福井大会も今考えると、みなさん、さぞ苦しかっただろうと思います。お察しします。以前の大会長の方々からも応援メッセージいただいております。大会でご紹介したいと思います。こんな時は、反対されたオリンピックじゃありませんが、応援が身に沁みます。みなさん!内容は、本大会は、実に豊かで、お勧めの内容ばかりの大会です。是非、ご参加いただければと思います。この時期なので、web参加にしておいて、近くなったら現地参加でも構いません。ズームでも交流ができるように調整中です。まずは、私たちが安心して眠れるよう、ご登録いただきますことをお願いします。また、ホームページからの入力が苦手な方は、FAX 用紙もございますので、事務局にご連絡ください。会場は熊本阿蘇空港のほんの目と鼻の先です。頑張って編集した抄録集に詳しく掲載しており、大会前1ヶ月で届くように努力しています。空港から、街中を結ぶ空港リムジンバスで、空港よりすぐにグランメッセ前のバス停がございます。

認知症ケア専門士 単位認定講座

10月15日 教育講演 認知症ケアセミナー

13:00~14:00

CVI 地域を巡る精神科医療

認知症高齢者の心性とのふれあい 益城病院理事長 犬飼 邦明氏

14:10~15:10

Cv2 認知症のパーソンセンタードケア

熊本県認知症ケア専門士会 会長 松永 美根子氏

15:20~16:20

Cv3 BPSD・生活障害の理解とポジティブケア

認知症介護・研究研修東京センター センター長 山口 晴保氏

大会 1 日目	10月16日(土) ズームウェビナー使用
8:30	受付開始
9:00	D1 オープニングイベント くまモン来るかも?
9:30	D2 開会式 ごあいさつ
	 熊本県知事(依頼中)協力団体の紹介
10:30	D3 基調講演
	地震と新型コロナと厚労省 危機のときこそ話し合いを
	厚生労働省 山田 章平氏
11:30	D4 インクルーシブ/まぜこぜ社会は社会成長のエンジン
	『なぜ・どうして・どうやって?』
	国連アジア太平洋経済社会委員会 秋山 愛子氏
13:00	D6 多様なカフェフォーラム
	デスカフェ・宗教カフェ・認知症カフェ・コミュニティカフェなどの
	活動紹介
	多様化カフェ活動からの共通点と人と人が出会うことの意義をこの
	時代に再確認しよう。また、地域で新たな活動が産声を上げるよう
	に。
	座長 認知症介護研究・研修東京センター 中村 考一氏
	カフェとは何か?座長からの新しい生活様式においての問題提起
	D6-1 佐賀県:生死(いのち)を考える あぁゆるカフェ
	古田 香澄氏 団野 園子氏
	D6-2 熊本県:カフェ.デ.モンクとは? 九州臨床宗教師会 芦田
	もと子氏
	D6-3 IT を活用した認知症カフェ活動 DFJI 岡田 誠氏
15 00 17 00	D6-4 被災後の益城町で行う地域カフェ 篠原 晴美氏
15:30-17:00	D7 ケアラー支援の重要性 家族やケア者の話に耳を傾けて

地域には、たくさんの支援が必要な人とそれを支援する家族がいる。またその家族にも支援者が必要な時がある。どうつながって、 そのように支えてくべきなのか?

座長 桜美林大学 長田 久雄氏

D7-1 家族やケア者の話に耳を傾けて 熊本県 田尻 貴子氏

D7-2 障がいのある方への親なき後を見据えた支援について

甲佐町福祉課 小山 美伸氏 熊本県自立支援協議会 今吉 光弘氏 D7-3 地域の縁側の役割 健軍くらしささえ愛工房 宮川 いつ子 氏

Cv5-3 重度でも自分らしく暮らすための支援の重要性を NPO 法人 Smile and Hope 太田 守武氏

Cv5-4 熊本県難病相談・支援センター 活動紹介 吉田 裕子氏

Cv6-1 患者の声:安心に繋がる(その人)中心の医療環境とは

グループホームヒューマンケア富合 前川 春美氏 Cv6-2 高齢期の住環境(終の棲家)は、どうなるか?

九州看護名誉教授 西島 衛治氏

Cv6-3 高齢者施設におけるケア環境とは

ヒューマン・ケアこうしの杜 土屋 政伸氏

16:00 C∨7 スピリチュアルケア部会 企画 梅津 礼司氏

スピリチュアルケアと宗教性 スピリチュアルケア専門職に求められる内的ケア資源の自覚 東北大学大学院文学研究科 谷山 洋三氏

奈良県 緩和ケアチーム 佐々木 慈瞳(じとう)氏

新たな生活様式での懇親会 地元食材(熊本地震で被災したお店のお弁当やデザートを準備、持ち帰りできる容器とバッグを準備する。バイキング方式は取らず、新しい生活様式に合わせる。飲食可能なマスクの配布を行う。気になる方は、持ち帰ることも可能。山鹿燈籠おどりなど 20:00 終了 申込者はバスで移動

会議室()	大) 🛮 ※会議室は、ズームミーティングを使用予定
11:30	L1 緩和ケアとしてのリンパ浮腫ケア 座長 斎藤 如由氏
	p82~p83
	L1-2 実演 大塚 俊介氏
13:00	L2 人材育成で盛り上げよう!
	L2-1 実践事例:福岡福祉向上委員会 大庭 欣二氏
14:30	L3 ケアカフェ体験
	リアルなケアカフェを体験しましょう!
	企画 大森 眞樹氏 清藤 千景氏 前田 淳子氏
16:00	L4 ボランティア集まれ! (部会) 企画 二ノ坂 保喜氏
	地域で患者を支えるカフェ活動や様々な支援活動の輪を広げましょう
	L4-1 がんになっても安心して暮らせる社会の実現のために
	がんサロンネットワーク熊本 鶴 智二郎氏

大会2日目	10月17日(日)
8:30	駐車場: 益城の皆さんによる朝市
メイン会場	
9:00	D8 教育講座 その人らしさとは何か 認知症を脳科学する
	脳科学者 恩蔵 絢子氏
10:30	在宅ホスピス・看取り推進フォーラム
	誰もが最後まで生きいくと暮らせるために
	D9-1 新しい時代の在宅ケアと看取り- 30分
	慶應義塾大学 堀田 聰子氏
11:00	D9-2 日本の在宅医療や介護の実態と課題、未来への提言
	地域の医療と介護の実践活動より 座長:高橋 恵
	子氏
	コメンテーター:堀田 聰子氏
	D9-3 安らかな最期を迎えるための口腔内の管理の重要性について
	益城町 共愛歯科 園田 隆紹氏
	D9-4 小国郷での多施設・多職種による在宅看取りシステム化の取
	り組み 小国町 小国公立病院 片岡 恵一郎氏
	D9-5 上益城地域での在宅診療の取り組みと課題
	上益城 牟田医院 牟田 龍史氏

	D9-6 その人が住み慣れた地域で暮らし続けるための在宅ケア
	上益城 谷田病院 訪問看護 岩﨑真由美氏
	D9-7 地域生活を支える訪問介護の課題
	ヘルパーステーション せせらぎ 藤川 美香氏
13:00	D10 地域の災害と復興 益城町 7×2の衝撃
	益城町危機管理課長 岩本 武継氏
14:00	D11 熊本地震と心のケア
	こころの医療センター 矢田部 裕介氏
大会2日目	10月17日(日)展示会場 (ポスター会場)
9:00	グリーフケア部会 企画:高木 和子氏 中野 貞彦氏
	C1-1 最期のお別れと悲嘆に向き合う 中野 貞彦氏
	C1-2 グリーフケアは"看取り期"から始まっている 森田 千香子
	氏
	C1-3 こころの拠り所としての"まちの保健室 Café" 宮崎睦美
10:30	C2 新しいテクノロジーで「ミライ」を拓く
	新たなコミニケーションツールとして 企画:清藤 千景
	氏
11:30	C3 日本ホスピス・在宅ケア研究会の歴史に学ぶ(事前録画)
	災害支援から始まった日ホスの歴史を振り返って
	その使命や活動の広がりを
	梁(リャン)勝則副理事長 石口 房子副理事長
12:00	映像で見る見取り 熊本地震を超えて、愛する家族に看取られて
13:00	C4 パネルディスカッション:がんになってもおしゃれを楽しむ
	生きがいとつながりをつくること
	企画・座長:山本 智恵子氏
	パネラー : 村上 美香氏 西口 富士乃氏
14:00	C5 教育講演 いきがいについて
	この時代の生と死を見つめ続けて 蘆野 吉和 理事長

大会2日目	10月17日(日) コンベンションホール ◯✓
9:00	Cv8 ACP·意思決定支援 企画:満岡 聰氏 宇都宮 宏
	子氏
10:00	Cv9-1 コミュニティケア部会 コミュニティケア部会の紹介
	座長:藤田 敦子氏 矢津 剛氏
	Cv9-2 苦しみのない人生はないが、幸せはすぐ隣にある
	めぐみ在宅クリニック院長 小澤竹俊氏

11:30	Cv1O-1 若年性認知症の支援
-------	------------------

	国際医療福祉大学 小野寺 敦志氏
	Cv10-2 若年性認知症のケア実践
	ケアサポートメロン 元田 真一氏
	Cv1O-3 若年性認知症相談支援 熊本県認知症コールセンター
12:20	<u>休憩</u>
13:00	Cv11 褒め言葉のシャワーをみなさんへ
	「ありがとう」の大切さ 教育研究者 菊池 省三氏
14:00	Cv12 尊厳ある医療とケア
	座長:尊厳死協会 本庄 弘次氏 満岡 聰氏
	地域で支える実践
	Cv12-1 尊厳ある医療とケア
	福岡県 看護小規模多機能 平野 頼子氏
	Cv12-2 法律家が支える尊厳ある生き方
	熊本県弁護士会 森枝 大輔氏
	Cv12-3 地域で尊厳ある医療とケアを考える
	佐賀県 鐘ヶ江 寿美子氏

大会2日目	10月17日(日) 会議室(大) 📗 ズームミーティング
9:00	L5 人が人を助けるアドラー心理学
	久保田 千代美氏 澤田 裕子氏
10:00	L6 災害支援の実際を考えるフォーラム 座長:佐々木 勝則氏
	L6-1 災害支援ネットワーク活動報告
	熊本県事務局:相良 沙織氏
	L6-2 災害支援の実際を考える 日本ホスピス・在宅ケア研究会
	「被災者支援ネットワーク」 石口 房子氏
	L6-3 災害時の栄養管理の重要性 熊本県栄養士会 田中 裕子
	L6-4 災害弱者を作らないために 太田 守武氏
	L6-5 東日本大震災から 10 年 地域の復興を支えるもの
	岩手県 社会福祉法人典人会:内出 幸美氏
12:30	■7 奈良大会ご紹介 久保田 千代美氏

13:00	8 この時代に、自然と人の関わりを考える
	ひととつながる・自然とつなげる
	日本自然保護協会:市民活動推進部 高川 晋一氏
14:00	■ 自然観察とストレスマネジメントの実際
	L9-1 地域で介護者との自然体験を行って 中村 考一氏
	L9-2 みどりの小路(熊本の自然と触れ合う認知症カフェ) 村田
	洋子氏

大会2日目	10月17日(日) 会議室(中)M
9:00	分科会
11:00	M2 熊本地震被災
	~令和2年7月豪雨支援~未来ネットワーク防災へ
	企画:寺西 貞昭氏 吉本 洋氏
12:30	休憩
13:30	M3 市民部会:私と家族の語り合う人生会議
	成定 啓子氏 田中 洋三氏

ご参加の皆様へ

本大会では「新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン」第4版を実行委員・ボランティア・参加者の皆様と共有し、感染予防に努めます。このガイドラインは、リアルまたはハイブリットによる MICE の開催事例に基づく内容を盛り込んだ内容になっています。感染状況によって、より、開催自治体、開催施設との連携を強化したうえで運営計画を立案していきます。新型コロナウイルス感染症の状況は、日々刻々と変化しております。会員の皆様にもご指導を仰ぎながら、ガイドラインにそって、開催していきたいと存じますので、ご理解とご支援の程よろしくお願いします。

引用:一般社団法人日本コンベンション協会 作成

新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン 第4版

URL https://jp-cma.org

8 月中の登録が事前登録で、お得になっております。登録をお急ぎください。会員様には抄録集が届きますので、是非内容をその内容をご確認ください。きっと気になる講座があると思います。只今、みんなで必死になって、準備を進めております。

しかし、この世の中、みんなが不安な中にいるのは、致し方ないと思います。 私自身もこの大会に光明を求めている一人です。何かが変わるきっかけにならないか と、大会参加者は、何を求めているのか?どう参加してもらい満足して貰えばいいの か?どう感染を予防するのか?安心してきてもらうためには?また、オンライン参加 者のために何ができるのか?私一人が考えても生み出すものが僅かで、協力を求めた いのに、どのタイミングで誰に頼むべきなのか?以前、やったことのあるグループホ ームの大会と比べても、大変な違いで、ニューノーマルを模索することさえ、難しい 状況で頭痛がひどくなります。しかし、熊本の農村には、知恵と力があり、悩んだ挙 句、地元の美味しい食材を食べて、週末、地元の山に登り、英気を養うのです。

ま、いいか…。最後は、他力本願でと。ということで、どうかよろしくお願いします。 申し込みは、熊本大会ホームページにて

https://hospice-kumamoto.org

問い合わせ 熊本大会事務局 (平日の昼間かメールに願いします) 電話:096-234-5511 グループホームせせらぎ (高橋・相良)